

令和 2 年度 宇都宮市立平石北小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

（1）基本目標

心身ともに健康で、自ら考え主体的に行動し、徳・知・体の調和のとれた人間性豊かでたくましく生きる児童を育成する。

～ 心ゆたかで かしく たくましく ～

（2）具体目標

- ・思いやりがあり協力し合える子（心ゆたかで）
- ・進んで学び自ら考える子（かしく）
- ・心と体をきたえる子（たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

— 楽しく「学び」・勇気をもって「チャレンジし」・みんなで「支え合う」活気ある学校経営の推進 —

児童や教職員、保護者、地域住民のだれもが楽しく安心していける活気のある学校とするためには、一人一人が達成感や満足感、存在感、やりがいを感じる場所となることが大切であると考え。教育目標の達成や児童一人一人の資質・能力の向上を目指して、全ての児童が楽しく意欲をもって様々な教育活動に取り組み、夢や希望に向かって勇気をもってチャレンジし、児童同士、教職員同士、児童と教職員、学校と地域が互いに支え合えるよう、学習指導や児童指導、各種活動・行事、人的・物的教育環境づくりの工夫・改善に努めて教育活動や学校経営の充実を図り、活気あふれる地域の学校づくりを展開していく。

◇目指す学校の姿（本校の使命） 「活気あふれる地域の学校」

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）目指す学校の姿（本校の使命）

「活気あふれる地域の学校」

（2）学校像と教職員像

- ①夢や意欲がもてる学校 ○②心豊かで思いやりのある児童が育つ学校
- ③互いの個性やチャレンジを認め合える学校 ④保護者・地域から信頼され魅力のある学校
- ⑤自己のキャリアを高めようとする意識の高い教職員 ⑥人間性・社会性豊かで信頼される教職員（学校スタッフとの連携）
- ⑦学校組織の一員として学びあい、協働し支え合う教職員

（3）「平北プロジェクト」（本校教育の重点）の策定と全教職員による実践推進

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

～学習や学校行事等を通して、学校生活に意欲をもって取り組む子供の育成

4 教育課程編成の方針

社会に開かれた教育編成のため、カリキュラムマネジメントの視点から、一貫性、相互関連性のある教育課程・各種年間指導計画を作成し、教育活動を展開する

- ① 各教科の教育内容を相互関係でとらえ、教育横断的な視点で内容を組織的に配列する
- ② 子供たちの姿や地域の現状に基づき、教育課程を PDCA サイクルで実施改善する
- ③ 小規模校の特性を生かし、教育内容と地域等の外部も含めた人的・物的な資源を効果的に組み合わせる。（各種ボランティア・平北ファーム・高齢者との交流活動等）

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- ・学校マネジメントシステムを生かした活気あふれる地域の学校づくりの推進
- ・教育活動の充実と精選、放課後研修の集中化を図り、勤務時間を意識した働き方の推進
- ・チーム力を生かした組織による業務の円滑化

【学 習 指 導】

- ・「安心して考えを伝え合い、互いに高め合える学級集団の育成」～自分で！みんなで！考える学習の重視～

【児 童 生 徒 指 導】

- ・望ましい生活習慣を身に付け、元気なあいさつ、正しい言葉づかいのできる児童の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・自己の健康・体力についての理解を深め、進んでその向上に努める児童の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価（R1）
目 指 す 児 童 の 姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答80%以上	① レンジャーシールや学習コーナー、「きいてきいてタイム」の活用を図り、児童の取組を認め、さらに児童の学習意欲を高める。 ② 児童の学習意欲が向上し、授業のねらいを達成できるよう言語活動を効果的に位置づける。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 「誰に対しても、思いやりの心をもって接している」 各対象 肯定的回答85%以上	① 道徳科の授業では、考え話し合う場を設ける。 ② なかよし班活動や縦割り清掃班活動を継続し、異年齢児童との活動の充実を図る。また、地域の大人・高齢者との交流を計画的に実施する。 ③ 道徳の授業や学級活動を公開授業に組み込む。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 「児童は、授業と生活のマナーを守って生活している」 各対象 肯定的回答85%以上	○①「ひらきたよい子の一日」を年度ごとに、児童の実態に合わせて見直していく。 ○②児童の生活の中から小さな頑張りでもよい点を見つけ、帰りの会等で積極的に認め合う。 ③帰りの会における生活目標の振り返りを継続して実施する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 各対象 肯定的回答80%以上	○①今年度同様、「さわやかあいさつ運動」の方法を工夫し、クラス単位でのあいさつ運動を行う。学校園あいさつ運動の取組も継続して実施していく。 ②各種たよりや学級懇談会等の機会をとらえ、家庭でも大きな声であいさつができるように協力を依頼する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 「目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答80%以上	① 持久走記録会やなわとび検定では、カードの活用を図り、達成感を味わう機会を作る。 ② レンジャーシールを活用し、児童の取組を認めていく。また、レンジャーシールをもとに、宮つ子心の教育表彰に該当する児童を考えていく。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 「健康や安全に気を付けて生活している」 各対象 肯定的回答 80%以上	① 児童が健康・食育・安全を意識しながら生活できるよう場面に応じた具体的な指導を継続して実施する。 ② 定期健康診断や各行事等を計画的に実施するとともに、体験活動を通した健康・食育・安全教育に取り組む。 ③ 随時、各種便りや HP などでの情報の発信・提供を行うなど、保護者への啓発活動を継続する。		【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 「夢や目標をもって社会に貢献できるよう努力している」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答 80%以上	① 宮・未来キャリア教育の充実を図るために、各教科等との関連について自校化を図り、年計に位置付け実施していく。 ② 各種便り、学校公開等の実施により、教育活動を積極的に発信する。		【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 「児童は、英語を使ったコミュニケーションをしている。」 児童、教職員対象 肯定的回答率 80%以上	① ALT と連携し、学年の実態に応じた外国語活動に取り組むことで、英語に親しみ、積極的に英語を使ってコミュニケーションをとろうとする態度を養う。 ② ALT との給食や昼休みの ALT による読み聞かせやゲーム、他授業などの交流を通して、学校生活で英語を使う機会を設ける。 ③ ALT との触れ合いについては教職員や児童からもアイデアを募る。		【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 「児童は、宇都宮の良さを知っている」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答率 80%以上	① 生活科や総合的な学習の時間の年計において自校化を図り、平石地区や宇都宮市を教材とした学習を展開する。 ② 地域の情報を収集し、H.P や各種おたよりに掲載することにより、地域の良さを実感できるような児童や保護者の地域活動を推進する。		【達成状況】 【次年度の方針】
A 10 児童は、ICT 機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 「パソコンや図書等を学習に活用している」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答率 80%以上	① 情報教育担当や司書、学級担任が連携し、パソコンや図書室等を活用した調べ学習や発展学習の内容を年計に自校化し、指導の充実を図る。 ② 各教科において図書や ICT を活用する学習活動の展開を工夫したり、意図的に場面を設定したりする。 ③ 「まなびポケット」を活用し、オンラインにおいて教室内で交流を図り、協働学習を進める。		【達成状況】 【次年度の方針】

	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 各対象 肯定的回答 85%以上	① 3年の高砂荘交流、1・2年のむかし遊び交流を継続して実施する。 ② 「きいてきいてタイム」での高齢者ボランティア、花壇ボランティアと作業を一緒に行うなど、触れ合う場面を増やす。 ③ 「感謝の会」の準備・本番を通して、感謝やいたわりの気持ちを実感できるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 「環境問題や防災等の『持続可能な社会』について、関心をもっている。 児童、教職員対象 肯定的回答率 80%以上	① 学校農園活動や親子ふれあい作業等を通して、「持続可能な社会」について、考える機会をもつ。 ② 平北ファーム関連の食農の年計の見通しを立てる。 ③ 避難訓練のマニュアルを作成する。 ④ 教職員の校内研修を実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 児童は正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 各対象 肯定的回答 80%以上	① 生活目標に「正しい言葉遣い」を位置づける。 ② 道徳や学級活動で意図的に取り上げる。 ③ 各種たよりや学級懇談会等の機会をとらえ、家庭でも言葉遣いについて考える機会をもってもらようようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 「特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員対象 肯定的回答率 80%以上	① 校内支援委員会やケース会議、児童に関する情報交換会を計画的・継続的に実施し、特別な支援を必要とする児童や保護者の情報について共有を図る。また記録を蓄積していく。 ② 個人懇談、保護者会などの中で児童の情報を把握する機会をもつ。また、適宜適切で迅速な保護者対応に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる」 各対象 肯定的回答 80%以上	① 各種たよりや学級懇談会等の機会をとらえ、児童の取組を発信していく。 ② 9月いじめゼロ強調月間に合わせて道徳の授業を継続して実施する。 ③ いじめゼロに関するアンケート・標語・名札の着用等を通じて意識の向上を図る。 ④ 児童会や平北レンジャーと連携し、いじめゼロ運動を計画的に実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】

A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 「教職員は、一人一人を大切にし、児童がともに認め合い、励まし合う学級経営を行っている」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答80%以上	① 今後も、児童指導情報交換会やいじめ等対策委員会（不登校対策含）、ケース会議等で児童の様子についての共通理解を図り、対応策を検討していく。 ② SCM及び特別支援コーディネーターを中心に、様々な外部組織とつながった対応を継続して進めていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ⇒教職員対象 肯定的回答率80%以上	① 関連機関と連携を図り、該当児童の存在や状況を把握していく。 ② 校内支援委員会等において、特別な支援を必要とする児童についての共通理解を図り、対応策を検討していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」 各対象 肯定的回答90%以上	① 児童会と平北レンジャーが連携し、計画的に活動を実施する。 ② 学校だよりや学年だより、H.P.等を活用し、クラスの様子や学校での活動の様子を積極的に発信していく。	（達成状況） 【次年度の方針】
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材研究を工夫するなど、きめ細かな指導をしている。」 児童・教職員・保護者対象 肯定的回答80%以上	① 学校課題を受け、「主体的・対話的で深い学び」の実現のため「基礎的・基本的な知識及び技能」を習得できるよう、学校全体で課題解決に向けて取り組む。 ② 算数における少人数・習熟度別学習やT.Tの実施、全学級T・Tによる朝の学習の実施など、個に応じた指導を工夫・改善することで、基礎基本の定着を図る。 ○③家庭学習について「家庭学習だより」や「家庭学習の手引き」などを活用したり地域学校園内で校内研修について共通理解を図ったりして、地域全体としての学力向上を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 「学校に関わる職員全員チームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 教職員対象 肯定的回答90%以上	① PDCA サイクルによる学校行事の精選を図り、校務分掌の見直しを図る。 ② 教職員一人一人の専門性を活かし、「社会に開かれた教育課程」の実現に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 「全教職員残業時間の平均 45 時間未満」 教職員対象 90%以上	① 業務改善を校務分掌に位置付け、業務の効率化に取り組んでいく。 ② 行事等の取組の反省を検証し、効率化につながる改善を図る。 ③ PC や電子掲示板を活用した会議や打ち合わせの効率化を図るなどの取組により、放課後の教材研究の時間を確保する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 「学校は、小学校と中学校が連携した取組を行っている」 各対象 肯定的回答 80%以上	○①地域学校園あいさつ運動等の行事を通して、児童・生徒交流を積極的に推進する。 ○②小中一貫の取組みがわかるように、各種便りや学校ホームページ、校内掲示等を工夫し、学校の取組や児童の活躍の様子を積極的に発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 「学校は、家庭・地域・企業等と連携して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 各対象 肯定的回答 80%以上	① 地域コーディネーターの役割を明確化し連携を強化することで、ボランティア活用の活性化を図る。 ② 街の先生及び学校支援ボランティアの活用を年計に位置づける。	【達成状況】 【次年度の方針】
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 「学校は、家庭・地域・企業等と連携して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 各対象 肯定的回答 90%以上	① 地域や PTA との連携をさらに推進し、地域に根差した特色ある学校づくりを目指す。各教科や総合的な学習の時間の地域教材の発掘を積極的に推進する。 ② 地域協議会を窓口とした学校支援ボランティアの活用を推進する。 ③ 各種便り、学校公開等の実施により、教育活動を積極的に発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 「学校は、利用者の安全に配慮した環境づくりに努めている」 教職員、保護者、地域対象 肯定的回答 80%以上	① チェック項目に基づく安全点検を毎月実施し、児童や利用者が安全に活用できる環境づくりに取り組む。危険箇所については迅速な改善や修繕に努める。 ② 危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練や引き渡し訓練等を通し、火事・地震・竜巻・不審者侵入等不測の事態への備えを万全にする。 ③ 保護者や利用者に来校時の注意点の周知、危険個所の表示、AED の活用、災害時の避難方法、危機対応に関する情報を提供する。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 児童・教職員・保護者対象 肯定的回答80%以上	① 各学級の古い図書は廃棄し、図書の充実を図る。 ② ICT 機器や図書を活用した授業に關しての研修の場を設ける。 ③ 授業参観等において、ICT 機器や図書を活用した授業を実践する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 学校マネジメントシステムを生かし、教育活動の継続的な改善に努めている。 【数値指標】 「保護者や地域住民の建設的な意見を学級経営や授業改善に生かそうとしている」 教職員対象 肯定的回答90%以上	① 教職員による評価や学校公開のアンケート等を活用し、教育活動の改善に努める。 ② 校内評価委員会やプロジェクトチーム等を活用し、教育活動の改善に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	B3 いろいろな分野の本をたくさん読み、読書への関心や読み取る力の育成に努めている。 【数値指標】 「児童は、進んで読書に取り組んでいる」 教職員、保護者、児童対象 肯定的回答 80%以上	① 朝の読書の実施、図書委員会による取組等により、読書への関心を高める。 ② 家庭での読書量が増えるよう、家読を継続して実施していく。 ③ 学校図書館司書と連携・協力して読書活動や学習活動への支援の工夫・改善を図り、H.P や各種おたよりで保護者への啓発を図る。	(達成状況) 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。